

第15回役員会議事要録

- 1 日 時 令和5年2月6日(月) 13:10～13:40
- 2 場 所 本部棟3階 「特別会議室」
- 3 出席者 4人(佐古学長, 大石理事, 梅津理事, 美馬理事)
- 4 欠席者 なし
- 5 陪席者 高橋事務局長, 近藤監事, 井関監事, 前原企画調整役(兼)総務部長, 須藤教務部長, 内海総務部次長(兼)経営企画戦略課長, 長谷川監査室長, 勢川総務課長, 兼定財務課長, 富士学生課長, 犬伏学術情報推進課長, その他職員
- 6 審議事項
なし
- 7 報告事項
 - (1) 鳴門教育大学における研究費の不正防止計画に対する具体的な取組みについて
大石理事から資料1のとおり「鳴門教育大学における研究費の不正防止計画に対する具体的な取組み」を策定した旨の報告があった。
また, 令和4年11月に実施した公的研究費の不正防止に係るアンケートの調査結果に基づき, 令和5年度の重点項目として「不正対策に関する方針及び使用ルール等に関する理解・認識不足・学内への不正防止意識の不徹底」を選定した旨の報告があった。
 - (2) 公的研究費の不正防止に係るアンケート結果について
大石理事から資料2に基づき, 令和4年11月に実施した公的研究費の不正防止に係るアンケートの調査の結果について報告があり, 従前より回答率が大きく上昇したが, 全体的に浸透度・理解度の維持又は若干の低下が見られる旨の説明があり, 引き続き, コンプライアンス教育等を通じて関係者への意識向上を図ることとした。
 - (3) 不正防止に係るリスクアプローチ監査について
大石理事から資料3に基づき, 研究費の適正な使用や管理を推進するため, 科学研究費助成事業に関連する業者及び教員に対し, 監査室と不正防止推進部署が連携してモニタリングを実施する等のリスクア

ブローチ監査を実施した旨の報告があった。

併せて、令和4年度の「鳴門教育大学における研究費の不正防止計画に対する具体的な取組み」の重点事項である、「業者に対する未払い問題の発生・取引業者と研究者との密接な関係」については、科学研究費補助金の内部監査により、適正に運用されていることを確認した旨の報告があった。

(4) 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインの内容を踏まえた再点検について

大石理事から資料4に基づき、ガイドラインの「機関に実施を要請する事項」等について再点検を行った結果、適正に運用されていることを確認した旨の報告があった。

(5) 啓発活動に伴うリーフレット及びポスターについて

大石理事から資料5～資料7のとおり、啓発活動の一環として、英語版のリーフレット及び英語・中国語併記のポスター等を作成した旨の報告があった。

(6) 最近の不正発生事案について

大石理事から資料8のとおり、文部科学省が公表した最近の不正発生事案について報告があり、本学において同様の事案が発生しないように不正防止推進活動を実施することとした。

(7) 令和3年度会計検査院決算検査報告掲記事項の周知徹底について

学長指名により、高橋事務局長から資料9に基づき、会計検査院発表の文部科学省関係指摘事項について報告があり、引き続き、適正かつ効率的な予算執行に取り組むこととした。